

7月の農業情報

タイトル 令和6年度作愛きらり®の実績

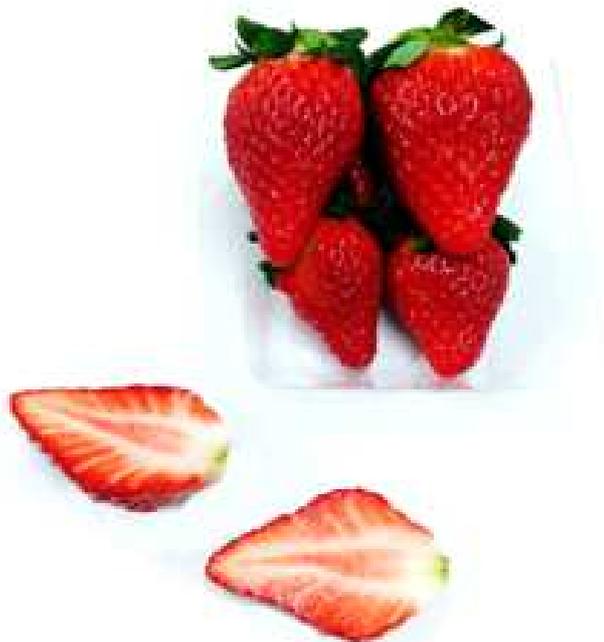
とき 令和7年7月22日(火)

ところ 豊川市

主体・対象 JAひまわりいちご部会(93名)

内容

JAひまわりいちご部会では「愛きらり®」の導入が増加し、令和6年作で部会総出荷量580tのうち287t、49.5%を占めるようになりました。過去の試作で、慣行品種「とちおとめ」と比較して早生性と多収性が評価され導入が進みました。夜冷作型において高単価時期の年内に出荷量が増大し、“儲かるイチゴ”と認知されました。令和7年作から「愛きらり®」は部会品種として決定され、導入面積は前年作47%から60%へさらに拡大する見込みです。



愛きらり®